

Be Ambitious Be Glocal Be Ecological

宮城県農業大学校

自営就農・農業法人への就職を支援する専門学校



根を張れ、つながれ、私たち！

2026
学校案内



@MIYAGINODAI

令和9年度 入校試験日程

	募集期間	試験日
推薦入校試験	令和8年9月1日～9月15日	令和8年10月1日
一般入校試験（前期）	令和8年11月4日～11月17日	令和8年12月2日
一般入校試験（後期）	令和9年1月18日～2月1日	令和9年2月16日

令和9年度 オープンキャンパス

第1回 7月11日（土）午前	第2回 7月25日（土）午前	随時、個別相談を実施しますのでご相談ください。
----------------	----------------	-------------------------

学部ごとに、名取教場、古川教場、岩出山教場の3教場で実施されます

水田経営学部

【定員：15名、修業年限2年】

水稲を中心に麦類、大豆等の土地利用型作物から複合部門の中心となる野菜まで、栽培技術、経営管理など幅広い専門知識を実践的なカリキュラムで修得し、水田をフル活用して、食料生産を支える意欲的な人材を育成します。



水田経営学部では、東京ドーム1個分程の広大な実習農場で作物の栽培技術や農業機械の操作などを学ぶことができます。専攻は、水稲がメインの「水田高度利用」と、水稲＋野菜の「園芸複合化」の2つで、各自でテーマを設定し、課題解決に取り組みます。



園芸学部

【定員：15名、修業年限2年】

野菜、花き及び果樹の栽培管理、経営管理など幅広い専門知識を実践的なカリキュラムにより修得し、地域の特性や消費者ニーズに対応した多彩で生産性の高い園芸作物の生産を切り拓く意欲的な人材を育成します。



園芸学部では、野菜、花き、果樹の3つの専攻に分かれ、園芸作物の生産から販売まで勉強しています。その他にも、フラワーデザイン、ガーデニング、食と農の講座など生産物の利用方法などについても学んでいます。2年生では各自が試験テーマを設定し、試験作物の管理を行います。

畜産学部

【定員：15名、修業年限2年】

酪農、肉牛、養豚の飼養管理、経営管理などの幅広い専門知識を、広大な敷地、先進的な施設機器類、豊富な実習教材等、恵まれた環境を活かした実践的なカリキュラムにより修得し、先進的な畜産を担う意欲的な人材を育成します。



畜産学部では、酪農、肉牛、養豚の3つの専攻に分かれて学習します。教場は畜産試験場内にあり、試験場の家畜やほ場を活用しながら、家畜の飼養管理や飼料作物栽培、家畜繁殖などの勉強をしています。学生は、家畜（牛）人工受精師や2級認定牛削蹄師などの資格取得を目指して勉強しています。



アグリビジネス学部

【定員：10名、修業年限2年】

農産物を利用した加工品づくりから生産物の販売方法、経営管理などを実践的なカリキュラムにより習得し、アグリビジネスに取り組む人材や、地域資源を活用した魅力ある地域づくりを担う人材を育成します。



アグリビジネス学部では、野菜の栽培に始まり、CAS冷凍機やレトルト釜等を用いた食品加工、Web販売方法等、食品の生産・加工・販売の6次産業化をトータルで学習します。また、経営コンサルタントなど様々な専門分野の講義も受講出来ます。2年生のキャリア形成プログラムでは、地域資源を活用した加工品の商品開発等に取り組めます。

■ 学費等の経費

学 費	入学金 5,650円 授業料 118,800円
諸経費(年額)	教材費(教科書等) 80,000円程度 その他経費 100,000円程度 後援会費 50,000円程度
寮 費(年額)	寄宿舍料 39,600円 光熱水費等(箕輪寮(名取) 72,000円程度・瑞穂寮(古川) 75,000円程度) 食費 230,000円程度

■ 令和7年度卒業生の進路状況

就農 自営就農

農業法人等

仙台ターミナルビル(株) JRフルーツパーク仙台あらはま、(農) せんだいあらはま、(農) 玉浦南部生産組合、リッチフィールド栗原(株)、(農) iファーム、(有) N.O.A、(農) テクノファーム牛野、(株) アグリみらい、(株) ユズファームワイナリー、(株) 一路、(株) ina2015

農業団体

(一社) 日本穀物検定協会東北支部

民間企業(農業関係)

ヤンマーアグリジャパン(株) 東北支社、(株) 南東北クボタ、(株) パールライス宮城、仙台中央食肉卸売市場、蔵王酪農センター、(有) フラワーランド(新地町)

民間企業(その他産業)

センコン物流(株)、(株) ヤオコー

研修 アプレントイスシップ制度による海外研修に向けた国内研修(国内)
農業振興公社(白石牧場)

■ 農業研修案内(一般の県民のみなさんが対象)

1. ニューファーマーズカレッジ

(1) 農業チャレンジクラス…知識と技術の習得

■ チャレンジコース : 土曜開催、授業10回コース

■ 農学応用講座聴講コース : 平日開催、授業12回コース

(2) 農業マスタークラス…就農に向けた知識、技術アップ

■ 就農希望者向け : 授業30回+授業日以外の栽培管理

2. 農業機械研修(農家、新規就農者等対象)

■ 大型トラクター基本研修 : 単体 2日間、けん引 3日間

3. 聴講研修 園芸病害虫、土壌肥料、食品学など

* 詳細は農業大学校教務部研修班にお問い合わせください。

農業大学校ホームページでも御覧いただけます。

電話 : 022-383-8128 FAX : 022-383-5491



■ 宮城県農業大学校所在地

■ 本部・名取教場(教務部・園芸学部・アグリビジネス学部・箕輪寮)

〒981-1243 宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地(宮城県農業・園芸総合研究所と同一敷地内)

電話 022-383-8138 FAX 022-383-5491

■ 古川教場(水田経営学部・瑞穂寮)

〒989-6227 宮城県大崎市古川大崎字富国88番地(宮城県古川農業試験場と同一敷地内)

電話 0229-26-5022 FAX 0229-36-1032

■ 岩出山教場(畜産学部)

〒989-6445 宮城県大崎市岩出山南沢字樋渡1番地(宮城県畜産試験場と同一敷地内)

電話 0229-72-2316 FAX 0229-73-1131